平成 25 年８月９日

各　　位

会 社 名　　片倉工業株式会社
代表者名　　代表取締役社長　竹内 彰雄
（コード番号　3001　東証第１部）
問合せ先　　常務取締役経理部長　佐野 公哉
（TEL. 03 － 6832 － 0229 ）

平成 25 年 12 月期第２四半期累計期間における業績予想値との差異に関するお知らせ

平成 25 年２月 15 日に公表した平成 25 年 12 月期第２四半期累計期間（平成 25 年１月１日～平成 25 年６月 30 日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成 25 年 12 月期第２四半期累計期間業績予想値と実績値との差異

（１）連結

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	26,000	600	900	500	14 円 22 銭
今回実績値（B）	24,875	1,229	1,573	997	28 円 37 銭
増減額（B－A）	△1,125	629	673	497	―
増減率（%）	△4.3	104.8	74.8	99.4	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 24 年 12 月期第２四半期）	25,461	1,463	1,684	699	19 円 90 銭

（２）個別

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	8,100	50	250	100	2 円 84 銭
今回実績値（B）	7,824	424	782	596	16 円 96 銭
増減額（B－A）	△276	374	532	496	―
増減率（%）	△3.4	748.0	212.8	496.0	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 24 年 12 月期第２四半期）	8,303	481	694	176	5 円 02 銭

２．差異の理由

連結については、売上高は若干の減収となったものの、営業利益・経常利益・四半期純利益は、不動産事業における一部費用の下期への期ずれ及び機械関連事業の採算性の改善を主として予想を上回りました。

個別については、売上高は若干の減収となったものの、営業利益・経常利益・四半期純利益は、不動産事業における一部費用の下期への期ずれを主として当初予想を上回りました。

なお、平成 25 年 12 月期通期業績予想については、現時点において、平成 25 年２月 15 日に公表しました業績予想に変更はありません。

以　上